昭和60年　第942号
3月17日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 464,584(+197)
男 227,324(+107)
女 237,260(+90)
世帯数 151,046(±0)
60年1月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 (28)1000
編集 企画部広報課
印刷所 ㈱第一印刷所

テレトピアモデル都市に指定

文化都市へ高度情報

大きな弾み

昨年10月のテレトピア推進会議で「基本計画」を説明する若杉市長

新潟市は五日、郵政省が進めているテレトピア（未来型コミュニケーションモデル都市）構想のモデル都市に指定されました。今回の指定は、高度情報文化都市を目指す本市にとって大きな弾みになるもので、市では新年度から、関係機関と調整を図りながら、具体的なシステム導入や体制づくりに取り組みます。

テレトピア構想とは、郵政省が高度情報社会における地方の情報化推進のため、一昨年秋に発表。全国に、産業構造や地理的条件などのタイプが異なる地域をモデル都市に指定し、優先的にニューメディア導入を図るというものです。

高度情報化は時代の潮流になっています。市では、ニューメディアの導入が、産業の活性化、市民生活の向上、地域社会の発展に寄与し、テレトピアのモデル都市指定を受けることが極めて有効であると判断。モデル都市に立候補していました。

市では、モデル都市指定に向け官民合同で「新潟テレトピア推進会議」を開き、さらに専門的な研究検討組織「新潟テレトピア研究委員会」を設置、指定に向け積極的に運動を進めてきました。

今回の指定は、「要件の整備が必要」という前提条件付きですが、これまでの取り組みが評価されたわけです。

財政・税制上の優遇措置

郵政省は、指定地域に対して①ニューメディア関連企業への財政投融資（約八十四億円）②郵政・通産両省で設立予定の「基盤技術研究促進センター」（仮称）からテレトピア推進法人（第三セクター）などへの融資③テレトピア推進法人への民間企業の出資金を、必要経費の対象とする―など財政・税制上の優遇措置を行います。

このほか、電電公社による設備投資が、優先的に実施されます。

市では、新年度予算に六百五十二万円の関連経費を計上しています。

今後は、市民の皆さんや関連産業の理解と協力を求めながら、推進母体となる財団法人の設立及びシステム導入について、新潟テレトピア推進会議などを開き、民間活力導入を基本として、産、学、官共同で検討を進めます。

若杉市長の話

テレトピアモデル都市に指定されたことは、高度情報文化都市を目指す当市にとって大きな力となり喜ばしい。

産業の活性化や市民生活の向上に、ニューメディアを役立てるため、市民各層とともに実現に力をつくしたい。

新潟テレトピア基本計画とは

双方向CATV（有線テレビ）、ビデオテックス、デジタル電話など各種のニューメディアを使い、産学官の協力による推進体制を確立して、健全な高度情報文化都市の建設を目指します。

導入する具体的なシステムとして①消費生活情報やタウン情報を一元的に提供する「生活支援システム」②列車やバスの運行状況や道路の混雑状況を提供する「都市交通情報システム」③降積雪、風水害、津波、地震などの情報を提供して、市民の安全確保に役立てる「気象防災情報システム」――など五つの情報システムを昭和六十三年までに確立します。

計画の推進母体として「（財）新潟テレトピア振興協会（仮称）」を設立し、民間活力導入を基本として、システム構築に関する調査、研究、開発などを行います。このほかに、民間情報を集めるIP（情報提供者）協会や公共機関の情報を集約する市情報センターの設立を図る――などです。

ブラーカ お先に失礼 ②

ブラーカ新潟は、今、建物がほぼ完成、内装工事も着々と進み つつあります。各ビルに設けられる「暮らしの広場」には、間もなくシンボルとなる像などが搬入されます。

新潟市は北緯三十八度線上にあり、ブラーカの広場のテーマとなる地中海沿岸の各都市が、なんと同じ線上に位置しているのです。

えっ！地中海……？

さて、ブラーカ1の広場は「ギリシャ広場」。地階から三階のレストラン街まで通じる大吹き抜け空間です。三階の女神像のつぼから落ちる水が、地下の透明なプルーの海に注ぎ込まれます。

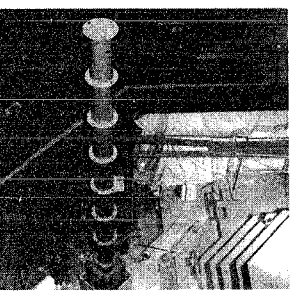
地中海地方の陽気な、そして歌や踊りの大好きな人々の暮らしが、新潟のそれとよく似ているという不思議な関係でもあります。

地階から一階までは、エスカレーターでつながります。そこには、ギリシャ風の彫像が多数配置され、にぎやかな広場になります。

ブラーカ2はイタリア広場。ローマの遺跡やナポリの町をイメージに、水の流れる階段が広場の中央に設けられます。それに沿うように エスカレーターを配置。若者たちが集う、明るく楽しい広場となります。

バルセロナのイメージで展開されているスペイン広場はブラーカ3に、流れる水を中心に、活気があるにぎわいの広場となります。

春の足音ももうすぐ。花開く四月のオープンに向けて、ブラーカは夢をふくらませています。



大吹き抜けのあるブラーカ1

固定資産税

評価替えの年です

六十年度は、固定資産税の評価額が改定（評価替え）されます。

これは、固定資産税の課税の基になる評価額を、次の価格を基準とする方式で、適正な時価に近づけるものです。

①土地は正常売買価格（正常な条件下で成立した取引価格）

②家屋は再建築費（新築した場合の通常必要な建築価格）

土地については、評価替えに伴う急激な税負担の上昇を避けるため、調整措置がとられる予定です。

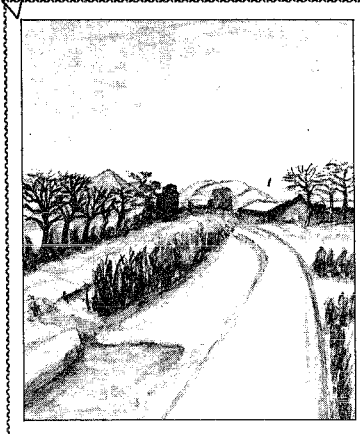
また、一定の条件を満たす住宅用地については、課税標準の特例が受けられます。

居住床面積が四十～百六十五平方㍍の新築住宅は、百平方㍍を限度に三年間（三階以上の耐火建築は五年間）税額が二分の一に軽減されます。

固定資産課税台帳は、四月八日から二十七日まで、所有者と関係者に公開されます。

問い合わせ 資産税課へ

私の散歩道 ⑭



西川筋の土手道

新通小学校の正門前を通り、坂井橋の手前から右に折れる堤防沿いの散歩道。四季を通じ、私と愛犬の楽しい散歩道である。

家並みが切れると、正面に角田山の姿と文理高校の学舎を挟んで、蒲原平野の象徴、弥彦山の秀峰が飛び込んでくる。春先きの今は、西川沿いの見事なケヤキの並木が春まえ近い空に枝を広げて、ユトリロの描いた冬空を見る思いがする。

晴れた西北の空には新潟大学の白いキャンバス。その南斜面に、色とりどりの住宅群。そして、道のすぐ近くに残存する農家のたたずまいが、一段と田園地帯の魅力を添えている道である。

小千田　勲（61歳、寺尾上六）

電話案内

市役所	28―1000
教育委員会	25―1000
体育課	67―1821
野球場・テニスコートの申し込み	66―8111
火災の場所を知りたいとき	24―1111
市民病院	41―5151
園芸センター	86―1034
東保健所	43―5311
石山地区保健センター	86―4450
鳥屋野地区保健センター	85―2373
北地区保健センター	59―7332
西保健所	66―5171
西地区保健センター	62―3405
坂井輪地区保健センター	60―3255
市医師会休日急患診療センター	31―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	83―3030

耳の相談

日時 3月21日正午～午後4時
会場 市医師会メジカルセンター（白山浦2、☎31―4135、鏡淵小西隣）
相談内容 耳の病気、お年寄りの難聴、きこえの悪い幼児のこれからの教育・生活指導、補聴器の選定と点検修理、障害者手帳や年金ほか
相談担当者 市医師会耳鼻咽喉科医師、ろう学校職員ほか

電話加入権の公売

日時 3月19日午前10時
会場 納税課（市役所4階）
その他 買受代金は午後1時までに現金で納付。電話局で行う権利移転手続きのときは住民票と印鑑が必要です。
問い合わせ 納税課（内線322）へ

くらしの一日教室 知っておきたい青果物の知識パート2

日時 三月二十六日午前十時～正午
会場 中央公民館
申し込み 電話で市消費生活センター（☎28―八一〇〇）へ――先着四十五人――